

図書館の上手な活用法

第1回 図書館で調べものをしよう

調べものの第一歩！

調べたいことをはっきりさせましょう。

具体的に調べる事柄を決めるのは簡単なことではありません。まず、大まかな情報を得て、調べたいことのイメージを膨らませましょう。その中から本当に知りたいことを絞っていくのが一番いい方法です。

大まかな情報を得るには、インターネットで調べる、周りの人に聞く、自分の体験から集めるなどいくつか方法があります。

ここでは図書館を利用してイメージを膨らませる方法を紹介します。

■ 書架をみる

図書館の本は分野ごとに分類されて並んでいます。調べたいことに関連する本が並ぶ棚で、いろいろな本を見ます。タイトルを眺め、本をパラパラと見るだけでも、いろいろなテーマがあることが分かります。

■ 百科事典や図鑑を利用する

百科事典には、全体的なことがまとめられているので、基礎を知るのに役立ちます。

なにか興味を持つきっかけが見つかるかもしれません。

■ 調べ学習用の本を使う

図書館には、「調べ学習ガイドブック」など調べ学習用の本があります。それらの本には、テーマ見つけチャートや、図書館の日本十進分類法（NDC）を使って、イメージを膨らませる方法が紹介されています。いろいろな視点からテーマを考えたいときに利用すると便利です。

■ 司書に相談

なかなかイメージが膨らまないときは、司書に相談してみてください。違う視点からのアドバイスができますし、相談を通して新たな切り口が見つかるかもしれません。

コラム 図書館の背ラベルの役割を 知っていますか？

図書館の資料に貼ってある背ラベルは、“本の住所”のようなもので、本を探すときの手がかりになります。これを「請求記号」といいます。資料の内容を日本十進分類法を用いて3～5桁の記号で表示しているので、テーマや分野などに沿った資料を探すときに役立ちます。

219.2	→分類番号（資料を内容別に分類）
A,38	→図書記号（著者名等をアルファベットで表示）
1	→巻数記号（巻号があるときに記載）

請求記号



図書館の活用法を 紹介した本です。

『図書館活用術』

藤田節子／著
日外アソシエーツ／刊

『図書館に行ってくるよ』

近江哲史／著
日外アソシエーツ／刊

『まちの図書館でしらべる』

『まちの図書館でしらべる』編集委員会／著
柏書房／刊

次回は、レファレンスについての活用法を紹介します。